

令和5年度 丹波年輪の里 木の館空調設備設置工事
仕様書

令和5年9月

令和5年度丹波年輪の里 木の館空調設備設置工事仕様書

1. 工事概要

- (1)工事名称 丹波年輪の里 木の館空調設備設置工事
- (2)工事場所 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3
- (3)工事範囲 木の館 1 階ホール及び 2 階展示場
- (4)工 期 契約日の日から令和5年12月28日(金) (工事検収及び引渡含む。)まで
- (5)支払方法

本工事の請負代金は、公益財団法人兵庫丹波の森協会による工事完了検査に合格の後、請求の書類が届いた日より30日以内に1回で支払うものとする。

(6)工事の目的

本工事は、木の館の空気調和設備を設置することにより、利用者の快適な環境と整えることを目的とする。

2. 工事内容詳細

(1)内容

木の館 1 階ホール及び 2 階展示場空調設備設置工事

(2)仕様等

別紙納入仕様書に基づく

(3)準拠規格

- ・日本工業規格(JIS)・日本電機工業会規格(JEM)・(公社)空気調和・衛生工学会規格(SHASE-S)
- ・(一社)日本冷凍空調工業会標準規格(JRA)・日本暖房機器工業会規格(HA)

3. 一般特記事項

(1)総則

- ① 本工事については、工事対象外の設備に不具合を来すようなことがあってはならない。
- ② 本工事の受託者は、既存の設備の全容及び構成要素を十分に理解して工事を計画することが求められる。また、その計画に基づき施工図作成・機器選定・製作・施工・工事対象運転及び機能確認を行うこと。工事終了後には空調設備の運転確認及び機能確認を行うこと。

(2)調査

- ① 工事に先立ち現場調査を行うこと。
- ② 調査により各工事項目についての状態を把握したうえ、担当者と打合せを行い、実施工程表を作成し承諾を得ること。

(3)施工

- ① 資材の搬入・搬出、施工において、通常運営に影響が発生しないよう、工事内容及び騒音の発生

などに注意すること。

- ② 不可避の騒音の発生等が生じる場合は、担当者と協議し調整を行うものとする。
- ③ 機材等の搬入・移動、搬出においては、施設の破損、汚れに注意し、必要な場合は養生を施すこと。
施設に、破損や汚れなどの損害を与えた場合は、速やかに担当者と協議のうえ、原状に復するものとする。補償が発生した場合は、工事請負者の責任において補償を行うこととする。

(4)発生材の処理

- ① 本工事で発生した生産材は、受託者の責任において適切に構外処分するものとする。
- ② 既設撤去物の処理については、以下のことを留意するものとする。
 - イ)撤去物の取外しの際、既存の設備を傷つけないように十分に注意して作業を行うこと。
 - ロ)撤去物は場外に搬出されるまでの間、指示する場所に整然と並べること。
 - ハ)撤去物は廃棄物処理の許可証を有している業者により適切な処分を行うこと。

(5)完成図書

本工事完成時には、表紙に工事名称・工期を記入し、完成図面、機器名や撮影場所を明示した工事及び完成写真(カラー)等を A4 ファイル綴りにて2部提出するものとする。

(6)瑕疵担保

本工事完了後の検収終了日より5年間、明らかに利用者の原因によると判断される以外の故障・異常については、無償で修繕を行うこととする。

(7)その他留意事項

- ① 作業員名簿
 - ア)現場での調査及び着工に際し、作業員名簿を提出するものとする。
 - イ)必要に応じ工事責任者、連絡担当等を選任し同名簿に記載すること。
- ② 施設の提供、利用
 - ア)施設は、工事期間中の可能な期間において、水道・電気・照明・トイレ等は館内の既存設備を提供する。
 - イ)搬入・搬出口、経路及び資材仮置場等については、担当者と協議すること。
- ③ 作業車両の駐車
 - イ)資材搬入、搬出用及び工事車両の駐車位置については、担当者と協議しその指示により駐車すること。
 - ロ)必要に応じて施設担当者にて駐車票を発行するが、台数、車番号を明らかにすること。

- 4. 以上は、工事等の概要を示したものであるから、施工にあたっての詳細及びその他不明な点については、担当者と協議し指示に従うこと。